

# 活動紹介!

## フ란テュール

フ란テュールは、フラワーアレンジメントのサークルです。フランス語で「種」を意味する言葉です。不定期ですが、毎月2回、火曜、土曜の午前中に活動しています。先生が用意してくださる様々な季節の花を、創意工夫を凝らしながら生けていきます。定期的に発表会をして腕前を披露します。先生は、市役所近くに「ラ・フ란テュール」という花屋さんを営まれています。



## 2月の催しから

- 1(日)
  - ・ヨーヨー連盟関東大会
- 5(木)
  - ・コープみらい5ブロックランド
- 7(土)
  - ・中村橋A&Fダンス発表会
- 8(日)
  - ・琉球古典音楽  
野村流保存会発表会
- 11(水)
  - ・武蔵野北高校吹奏楽部OB会  
ラッパーズ演奏会
  - ・東久留米三田会第11回銀杏寄席
- 13(金)
  - ・第3回地域福祉講座
- 14(土)
  - ・なでしこ幼稚園作品展
- 21(土)
  - ・ろう者協会講演会
- 22(日)
  - ・武蔵野楽器ピアノ発表会
- 23(月)
  - ・東久留米こども劇場
- 26(木)
  - ・稲門会・成美教育文化会館  
共催映画会



## 会館事務室から



## 今月の話題 - レア資源開発

レア資源とは、希少な資源ということです。例えばレアアースとかレアメタルとよばれているものです。これらは、電気自動車のモーターやスマートフォン、電気自動車の電池などハイテク製品を作る上で欠かせない材料となっています。現在、レアアースやレアメタルは、特定の限られた国からしか採れず、日本はほぼそれらの国からの輸入に頼っています。もし、外国からの輸入が滞ったりすれば、日本の産業は大きな影響を受けてしまいます。

そうした中、2013年、東大の研究チームが南鳥島周辺の深海に大量の良質なレアアースが眠っていることを発見しました。以来、いかに効率よく、採掘するかという研究が積み重ねられました。そしてついにこの1月に世界初の技術で試験的な採掘がいよいよ開始されました。そして1年後には、本格的な試掘が開始、2年後には商業生産に入るという計画です。

こうした夢ある展望がある一方、レアアースやレアメタルを使わない製品の開発も同時に進んでいます。この実用化が進めば、希少資源をめぐる悩ましい課題は、一気に解決されるかもしれません。当面は、日本独自の技術による深海の資源の採掘が続くことでしょう。また、資源の発見と採掘技術の開発という二つの努力によって、今、世界的な問題となっているレア資源の供給について、日本が貢献できる道が開かれたことは実に喜ばしいことです。

